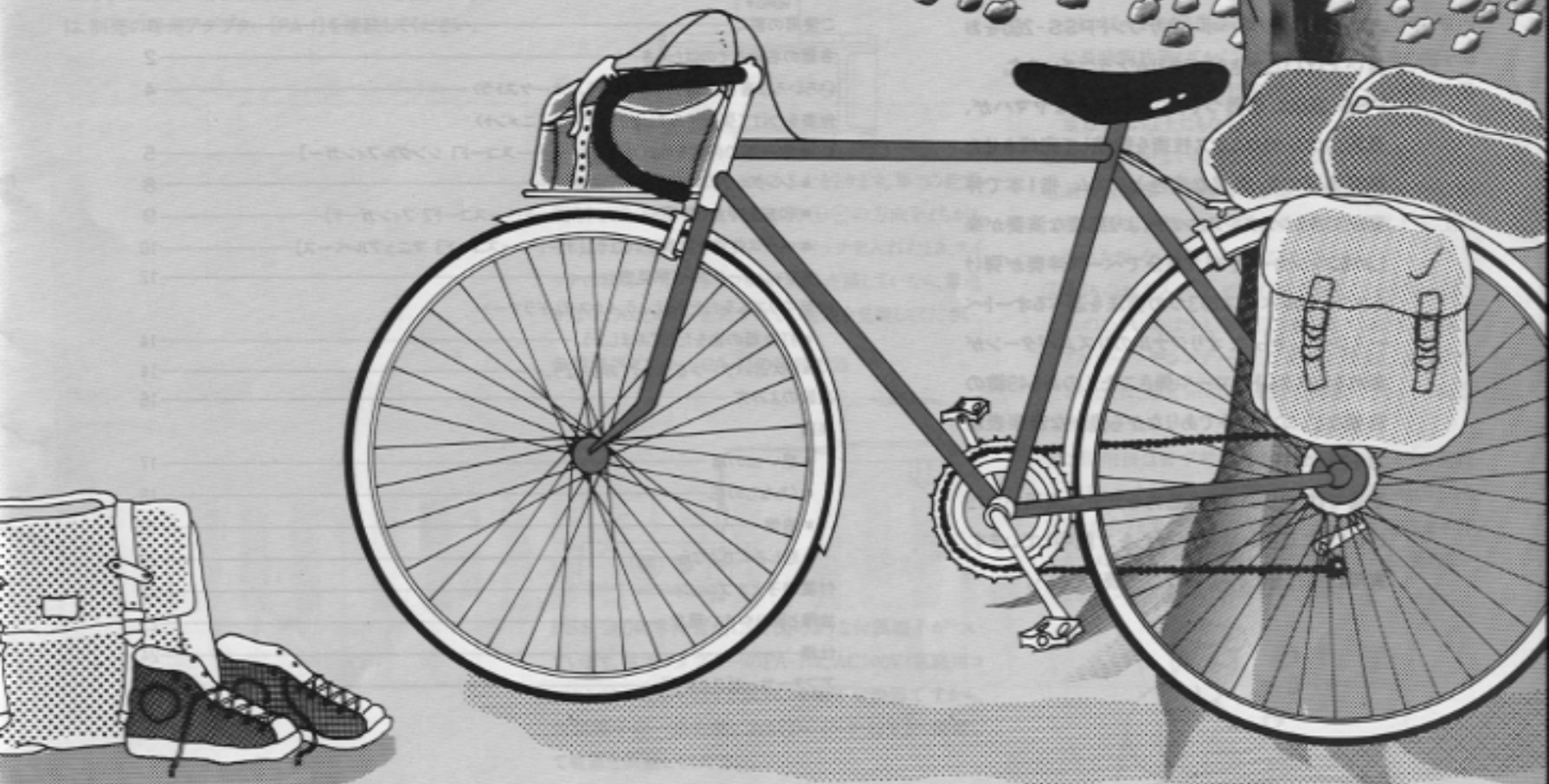


**YAMAHA**

# PortaSound PSS-260

取扱説明書



# ごあいさつ

このたびは、ヤマハポータサウンドPSS-260をお買い上げいただきましてありがとうございます。

PSS-260は、楽器づくりの経験豊かなヤマハが、最新のエレクトロニクス技術を駆使して完成させた鍵盤楽器です。豊富な音色とリズム。指1本で伴奏ができるシングルフィンガー、より高度な演奏が楽しめるフィンガード、そして自分でベース伴奏が弾けるマニュアルベースの3つの奏法を選べるオートベースコード。さらに、オリジナルのリズムパターンが創れるカスタムドラマーや弾きこたえのある49鍵の音域など、コンパクトでありながら豊かな音楽表現力を持っています。

本書では、PSS-260の魅力を充分ご活用いただけるように正しい取扱いかたをご説明しています。実際に操作しながら、ぜひご一読ください。

# もくじ

	ページ
ご使用の前に	1
各部の名称とそのはたらき	2
いろいろな音色で弾いてみましょう。〈オーケストラ〉	4
伴奏をつけて弾いてみましょう。〈アカンパニメント〉	
■ 指一本で伴奏をしましょう。〔オートベースコード1 シングルフィンガー〕	5
■ シングルフィンガーコード早見表	8
■ 和音を押えて伴奏をしましょう。〔オートベースコード2 フィンガード〕	9
■ ベース伴奏を演奏しましょう。〔オートベースコード3 マニュアルベース〕	10
■ フィンガードコード早見表	12
鍵盤でリズムをたたきましょう。〈カスタムドラマー〉	
■ 打楽器の音をだしてみましょう。	14
■ リズムパターンをつくってみましょう。	14
楽譜のよみ方	16
楽譜	
■ 思い出の渚	17
■ ちなしの花	18
■ 追憶	19
■ 悲しみにさよなら	20
付属端子とオプション	22
故障と誤りやすい現象	23
仕様	24
アフターサービスと保証	25

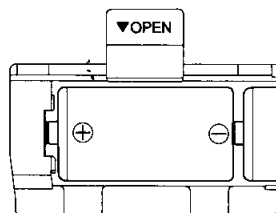
# ご使用前に

ながくお楽しみいただくために、次の点にご注意ください。

## 電源について

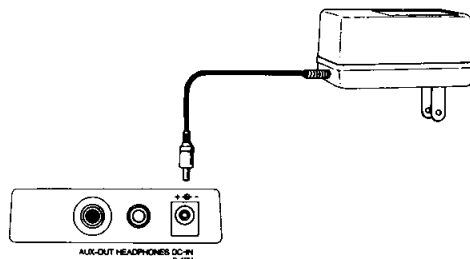
PSS-260の電源は、電池と家庭用コンセントの両方を使用することができます。家庭用コンセントを使用する時は、別売の専用アダプター(PA-1)を接続してください。

### ●電池の入れ方



まず、本体裏面にあるケースのふたをとりず。単2の乾電池を一列に6個入れます。このとき⊕⊖の方向をまちがえないようご注意ください。パワースイッチを入れたとき、スイッチの横のパイロットランプが常時点滅していたら、電池がなくなりはじめています。すべての電池を交換してください。

### ●電源アダプター(PA-1)の接続方法



PSS-260の本体背面には、図のような付属端子がついています。電源アダプターのPA-1は、AC100V(家庭用コンセント)から、DC12Vを取り出す電圧変換器ですから、付属端子の一番右側にある(DC IN 9-12V)へ接続して電源を供給してください。

★PA-1以外のアダプターは使用しないで下さい。

## 取扱上の注意

- ①極端に温度が高い場所(60℃以上)に置いておくと本体の外側や内部に悪影響を与え、故障の原因となることがあります。暖房器具のそばに置いたり、日中、車内に長時間放置しておくことはさけてください。車の窓を閉めきっているとき、直射日光が当たっていると、車内の温度は80℃以上にもなります。
- ②特に湿気が多い場所に置くことはさけてください。
- ③過度な衝撃や無理な力を加えると、傷がついたり、故障の原因となることがあります。本体を落としたり、上に座ったりしないように注意してください。
- ④本体のお手入れは、乾いた布でカラぶきをするか、よごれのひどい時は少し水で湿らせた布でふいてください。アルコールやシンナー類は、絶対に使用しないでください。また、塩ビ系のものを長時間置くと、くっつく場合があります。
- ⑤ご使用後は必ず電源スイッチを切ってください。電源が入ったまま長時間放置しておくと、故障の原因となることがあります。また、長い間使わないときは、電池を本体からぬいておいてください。電源アダプターも、使わないときは、プラグをぬいておいてください。





## 全体のコントロール

### ①デモンストレーション

このボタンを押すと、モーツァルトのトルコ行進曲が自動的にいろいろなリズムや音色で演奏されます。もう1度押せば、演奏が止まります。テンポは⑤テンポコントロールで調節します。

### ②パワースイッチ(4ページ)

電源を入れるスイッチです。パイロットランプが点灯すれば、電気が通じています。

### ③マスターボリューム(4ページ)

全体の音量を調節するレバーです。上へ動かすと、大きくなります。

## 伴奏部

### ④アカンパニメントボリューム(5~10ページ)

伴奏部の音量調節のレバーです。上へ動かすと、リズムとオートベースコードの音が大きくなります。

### ⑤テンポコントロール(5~10ページ)

自動リズムのテンポの速さを調節するレバーです。上へ動かすと速くなります。

### ⑥シンクロスタート(5~10ページ)

演奏と同時にリズムをスタートさせるボタンです。オートベースコード用鍵盤を押すとリズムがスタートします。

### ⑦スタート(5~10ページ)

リズムをスタートさせるボタンです。

### ⑧ストップ(5~10ページ)

リズムを止めるボタンです。

### ⑨オートベースコードセレクター(5~10ページ)

伴奏のしかたをえらぶレバーです。

#### ●マニュアルベース

自分でベース演奏をしたい時、ここにセットします。コードの音はなりません。

#### ●フィンガード

和音を押えて自動伴奏をする時、ここにセットします。

#### ●シングルフィンガー

指1本で、自動伴奏をする時、ここにセットします。

#### ●オフ

オートベースコードを使用しない時、ここにセットします。

### ⑩リズムセレクター(5~10ページ)

リズムの種類を選ぶボタンです。

## メロディー部

### ⑪オーケストラ音色セレクター(4ページ)

音色を選ぶボタンです。

### ⑫ビブラート(4ページ)

音をこきざみにふるわせ、うるおいのある音色にする効果のスイッチです。

### ⑬サステイン(4ページ)

オーケストラ音色に自然な余韻をつける効果のスイッチです。

## カスタムドラマー

### ⑭プログラム スタート/エンド(14~15ページ)

オリジナルのリズムパターンをつくる時に押すボタンです。

### ⑮キャンセル(14~15ページ)

リズムパターンを消す時にこのボタンを押しながらカスタムドラマー用鍵盤を押えます。

### ⑯プレイ/ストップ(14~15ページ)

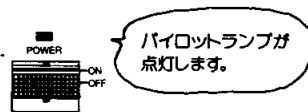
つくったリズムパターンの再生をスタートしたり、止めたりするボタンです。

### ⑰オートベースコード用鍵盤部(5~10ページ)

自動伴奏を使って演奏するとき、伴奏を受けもつ鍵盤です。

# いろいろな音色で弾いてみましょう。(オーケストラ)

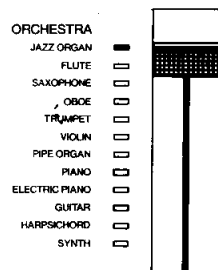
## 1. パワースイッチをON。



パイロットランプが点灯したら電気が通じています。

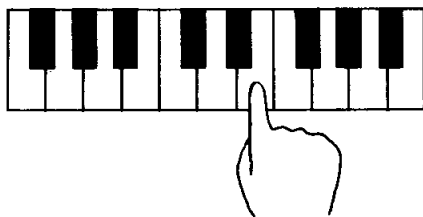
★電池が少なくなると、パイロットランプが点滅します。全部、新しい電池と交換してください。

## 3. 音色セクターで、好きな音色を選びます。



好きな音色名のところに赤いシルシがくるように、カチッというまでレバーを動かします。

## 3. 鍵盤をおさえてみましょう。



いかがですか? 選んだ音色がでたことと思います。音色セクターでいろいろな音色に変えて、メロディーを弾いてみましょう。

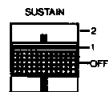
★同時に7音までの和音演奏ができます。(オートベースコードを使用しない時)

## 5. 効果を加えてみましょう。

ビブラート、サステインは音色の表情を変える効果のスイッチです。演奏する曲のイメージにあわせて使いましょう。



ビブラートをONにすると、音がこざごみにふるえ、うるおいのある響きになります。



サステインは、音に自然な余韻をつける効果。鍵盤から指を離れたあとも音が残って自然に消えていくようになります。1と2では、2の方がながく余韻が残ります。

★オーケストラ音色には大きく分けて2種類あります。

持続音	ジャズオルガン、フルート、サクソフォン、オーボエ、トランペット、バイオリン、バイオルガン、シンセ
減す音	ピアノ、エレクトリックピアノ、ギター、ハープシコード

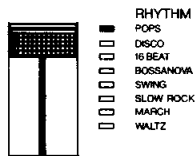
# 伴奏をつけて弾いてみましょう。(アカンパニメント)

## 指1本で伴奏をしましょう。(オートベースコード1 シングルフィンガー)

PSS-260の伴奏のしかたには3種類あります。

1. シングルフィンガー…指1本でコードとベースによる自動伴奏ができる。
2. フィンガード…和音を押えてより高度な自動伴奏をする。
3. マニュアルベース…自分でベースラインを演奏する。

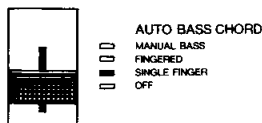
### 1. リズムセクターで好きなリズムを選びます。



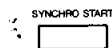
好きなリズム名の書いてあるところに赤いシルシがくるように、カチッというまでレバーを動かします。

★ワルツは3拍子、そのほかのリズムは4拍子です。

### 2. オートベースコードセクターをシングルフィンガーにセット。



### 3. シンクロスタートのボタンを押します。



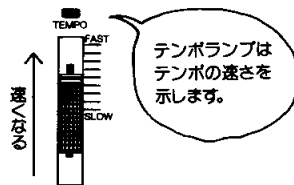
メロディーと伴奏を同時にスタートしたい時には、シンクロスタートのボタンを使います。このボタンを押すと演奏スタンバイの状態となり、オートベースコード用鍵盤(C<sub>1</sub>~F<sub>2</sub>)を押すと同時にリズムが第1拍目から鳴りはじめます。

### 〈スタート〉



スタートのボタンを押すと、選んだリズムが鳴りはじめます。  
★演奏の途中でシンクロスタートのボタンを押すと、リズムが止まり、再び演奏スタンバイの状態に戻ります。ブレイクの時などに便利です。

### 4. テンポコントロールのレバーでリズムの速さを調節。



テンポランプはテンポの速さを示します。

シンクロスタートのボタンを押すと、テンポランプが1拍ごとに点灯してリズムの速さを示します。テンポランプで確認しながら、テンポボリュームのレバーを調節しましょう。

### ●テンポランプ

テンポランプはリズムがスタートしているとき、次のように点灯し、リズムのテンポと、何拍目であるかを確認することができます。

1拍目——明るく点灯 2拍目——暗く点灯

3拍目——やや明るく点灯 4拍目——消灯

ワルツの場合は1拍目(明るく)、2拍目(暗く)、3拍目(消灯)となります。

### 5. オートベースコード用鍵盤をひとつ押えてみましょう。

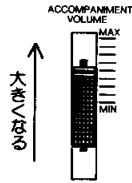


オートベースコード用鍵盤を押すと同時に、和音とベース音による伴奏がリズムにのってできます。

★鍵盤から指を離れたあとも同じ伴奏がくり返されます。  
コードが変わるときだけ鍵盤を押してください。

★コードを変えるところで、指を鍵盤から離さないで動かすと、コードが変わらないことがあります。いったん鍵盤から指を離すようにしてください。

## 6. アカンパニメントボリュームのレバーで、伴奏の音量を調節。



## 7. オートベースコードの伴奏で、メロディーを弾いてみましょう。

オーケストラ音色セクターで好きな音色を選び、オートベースコードの伴奏にあわせてメロディーを弾いてみましょう。

★オートベースコードの音色は、オーケストラで選んだ音色と関係ありません。

★オートベースコードを使っている時、メロディー部では同時に3音までしか鳴らせません。

★マスターボリュームとアカンパニメントボリュームのレバーで、メロディーと伴奏の音量バランスを調節しましょう。

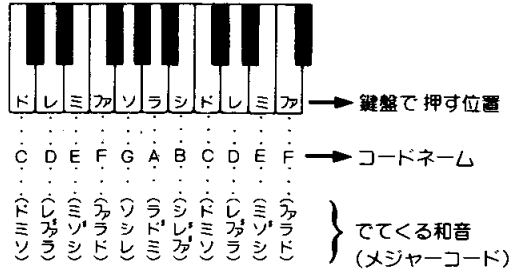
## 8. 伴奏の音を止めたい時は、ストップのボタンをON。



## シングルフィンガーコードのしかた

### シングルフィンガーコードについて

次の図は、オートベースコード用鍵盤をおす位置と、でてくる和音の関係を示したものです。



### ♯のついているコードのしかた

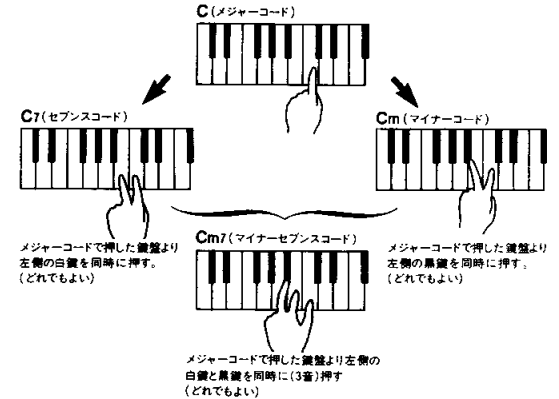
メジャーコード(例えば[C]や[F]など)の中には、[F♯]や[B♯]のように♯(シャープ)やb(フラット)のついているものがあります。この♯、bは、音符についている場合と同じように、半音上げる(♯)、半音下げる(b)ように指示する記号です。



♯がついていたら、上の図で説明した位置の右上の黒鍵、bがついていたら左上の黒鍵をおせば、♯・bのついたコードがでます。

## セブンスコード、マイナーコードのしかた

アルファベット1文字のコード(C、Dなど)をメジャーコードといいます。伴奏はメジャーコードだけでは限りません。例えば[G7]のようなセブンスコード、[Am]のようなマイナーコードもよく使われます。これらも、下図のように、2つの鍵盤を同時におすことで出すことができます。



★シングルフィンガーを使ってだせるコードは、「メジャーコード」「マイナーコード」「セブンスコード」「マイナーセブンスコード」の4種類です。



■シングルフィンガーで伴奏をつけて「ラブ・ミー・テンダー」を弾いてみましょう。

このようにセットします。

シングルフィンガード

ボリュームはこのくらい

シンクロスタート

テンポはゆつくり

リズムはポップスを選びます。

音色はピアノ

サステイン1

ACCOMPANIMENT

MASTER VOLUME

ACCOMPANIMENT VOLUME

TEMPO

FAST

SYNCHRO START

START

STOP

スロー

AUTO BASS CHORD

MANUAL BASS

FINGERED

SINGLE FINGER

OFF

RHYTHM

POPS

DISCO

REGGAE

BOSSANOVA

SWING

SLOW ROCK

MARCH

WALTZ

ORCHESTRA

JAZZ ORGAN

FLUTE

SAXOPHONE

OBOE

TRUMPET

VIOLIN

PIPE ORGAN

PIANO

ELECTRIC PIANO

GUITAR

HAUPFSCHORD

SYNTHI

ORCHESTRA

VIBRATO

ON

OFF

SUSTAIN

2

1

OFF

# ラブ・ミー・テンダー

作曲 E. Presley & V. Matson

[POPS] C C D7 G7 C

[PIANO+SUS.1]

C D7 G7 C

C E7 Am C7 F Fm C

C A7 D7 G7 C

日本音楽著作権協会(出)許諾第8571219-501号

















































© 1956 by ELVIS PRESLEY Music, Inc. Rights for Japan assigned to CHAPPEL/INTERSONG K.K.

☆コードのおさえ方

C D7 G7 E7 Am

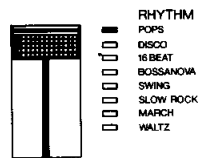
C7 F Fm A7

# シングルフィンガーコード早見表

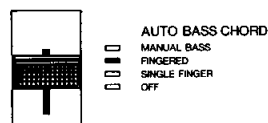
メジャーコード		マイナーコード		セブンスコード		マイナーセブンスコード	
C		Cm		C7		Cm7	
D <sup>♯</sup> (C <sup>♯</sup> )		D <sup>♯</sup> m (C <sup>♯</sup> m)		D <sup>♯</sup> 7 (C <sup>♯</sup> 7)		D <sup>♯</sup> m7 (C <sup>♯</sup> m7)	
D		Dm		D7		Dm7	
E <sup>♯</sup> (D <sup>♯</sup> )		E <sup>♯</sup> m (D <sup>♯</sup> m)		E <sup>♯</sup> 7 (D <sup>♯</sup> 7)		E <sup>♯</sup> m7 (D <sup>♯</sup> m7)	
E		Em		E7		Em7	
F		Fm		F7		Fm7	
F <sup>♯</sup> (G <sup>♯</sup> )		F <sup>♯</sup> m (G <sup>♯</sup> m)		F <sup>♯</sup> 7 (G <sup>♯</sup> 7)		F <sup>♯</sup> m7 (G <sup>♯</sup> m7)	
G		Gm		G7		Gm7	
A <sup>♯</sup> (G <sup>♯</sup> )		A <sup>♯</sup> m (G <sup>♯</sup> m)		A <sup>♯</sup> 7 (G <sup>♯</sup> 7)		A <sup>♯</sup> m7 (G <sup>♯</sup> m7)	
A		Am		A7		Am7	
B <sup>♯</sup> (A <sup>♯</sup> )		B <sup>♯</sup> m (A <sup>♯</sup> m)		B <sup>♯</sup> 7 (A <sup>♯</sup> 7)		B <sup>♯</sup> m7 (A <sup>♯</sup> m7)	
B		Bm		B7		Bm7	

# 和音を押えて伴奏をしましょう。(オートベースコード2 フィンガード)

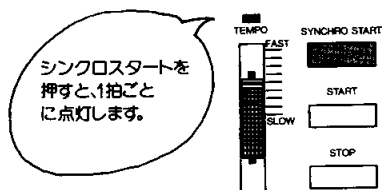
1. リズムセクターで好きなリズムを選びます。



2. オートベースコードセクターをフィンガードにセット。



3. シンクロスタートのボタンを押し、テンポコントロールのレバーでリズムの速さを調節。



シンクロスタートのボタンを押すと、テンポランプが1拍ごとに点灯してリズムの速さを示します。テンポランプで確認しながら、テンポボリュームのレバーを調節しましょう。

4. オートベースコード用鍵盤で和音を押えてみましょう。



オートベースコード用鍵盤を押すと同時に和音とベース音による伴奏がリズムにのってでてきます。

- ★鍵盤から指を離れたあとも同じ伴奏がくり返されます。コードが変わるときだけ鍵盤を押してください。
- ★コードを変えるところで、指を鍵盤から離さないで動かすと、コードが変わらないことがあります。いったん鍵盤から指を離すようにしてください。

5. オートベースコードの伴奏で、メロディーを弾いてみましょう。

オーケストラ音色セクターで好きな音色を選び、オートベースコードの伴奏にあわせてメロディーを弾いてみましょう。

- ★オートベースコードの音色は、オーケストラで選んだ音色と関係ありません。
- ★オートベースコードを使っている時、メロディー部では同時に3音までしか鳴らせません。
- ★マスターボリュームとアカンパニメントボリュームのレバーで、メロディーと伴奏の音量バランスを調節しましょう。

6. 伴奏の音を止めたい時は、ストップのボタンをON。

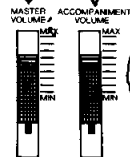


# ベース伴奏を演奏しましょう。(オートベースコード3 マニュアルベース)

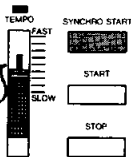
マニュアルベースは、自分でベースラインを演奏したい時に使います。マニュアルベースでは、オートベースコード用鍵盤がベース演奏用となり、コードの音はできません。また、「シングルフィンガー」や「フィンガード」のように、リズムに合わせて自動的に刻まれることもありません。

■「ハート・オブ・レインボー」を弾き語りしよう。

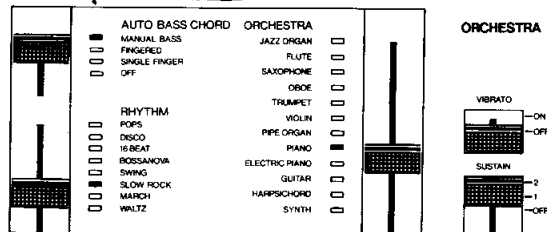
オーケストラとオートベースコードの音量を調節



テンポはまん中くらい



マニュアルベースにセット



リズムはスローロック

コード演奏はピアノで

## ハートオブレインボー

作詞 売野雅勇 作曲 芹澤廣明

左手でベース、右手でコードを演奏しながら歌おう。

**[SLOW ROCK]**

**Vocal**

Long Long Way ho-me  
Dar-ling

よぞらそめる にじにこしか けて -  
あいをすてて ゆめえら - ん だこと -

きみがたたく ピアノ から -  
やさしい こえで - ゆる すて -

*Simile.*

ほしのかげらが まちへ ふるよ -  
せなかだいてささや い - て

Dock of the ba-y

ねむるふねの かげでハ - モ ニカを -

**Right**

**Left**

Chords: F, Bb, C7, F, Gm, C7, F, Gm, C7, F, Db, C7, F, Bb, C7, F

Gm C7 F Gm C7 F F7 B<sup>b</sup> C7 F

きみにあわせ くらい うみ - むけてふくのさ さびしいよるは - うまれ たときから きみ だけどー

Gm C7 F F7 B<sup>b</sup> Am Dm Gm7 B<sup>b</sup>

あいはきまって - いた のに - Wow wow wow ふたりそばにいる だけで し あわせだったと あのころずっとわからなかつ

C

た Woo woo woo Miss you







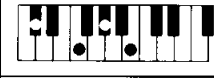
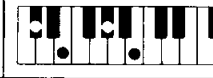



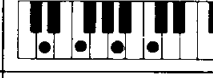






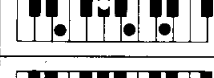


















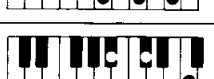

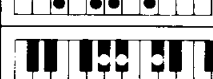




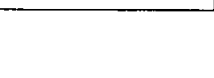
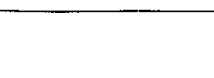
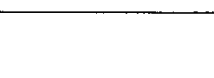
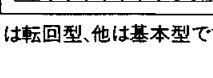
♩ Coda

F B<sup>b</sup> F

くれ - Fi-ve thou-sand...miles... Heart of Rain-bow

D.S.

# フィンガードコード早見表

メジャーコード		マイナーコード		セブンスコード		マイナーセブンスコード	
C		Cm		C7		Cm7	
D <sup>♯</sup> (C <sup>♯</sup> )		D <sup>♯</sup> m (C <sup>♯</sup> m)		D <sup>♯</sup> 7 (C <sup>♯</sup> 7)		D <sup>♯</sup> m7 (C <sup>♯</sup> m7)	
D		Dm		D7		Dm7	
E <sup>♯</sup> (D <sup>♯</sup> )		E <sup>♯</sup> m (D <sup>♯</sup> m)		E <sup>♯</sup> 7 (D <sup>♯</sup> 7)		E <sup>♯</sup> m7 (D <sup>♯</sup> m7)	
E		Em		E7		Em7	
F		Fm		F7		Fm7	
F <sup>♯</sup> (G <sup>♯</sup> )		F <sup>♯</sup> m (G <sup>♯</sup> m)		F <sup>♯</sup> 7 (G <sup>♯</sup> 7)		F <sup>♯</sup> m7 (G <sup>♯</sup> m7)	
G		Gm		G7		Gm7	
A <sup>♯</sup> (G <sup>♯</sup> )		A <sup>♯</sup> m (G <sup>♯</sup> m)		A <sup>♯</sup> 7 (G <sup>♯</sup> 7)		A <sup>♯</sup> m7 (G <sup>♯</sup> m7)	
A		Am		* A7		* Am7	
B <sup>♯</sup> (A <sup>♯</sup> )		B <sup>♯</sup> m (A <sup>♯</sup> m)		* B <sup>♯</sup> 7 (A <sup>♯</sup> 7)		* B <sup>♯</sup> m7 (A <sup>♯</sup> m7)	
B		Bm		* B7		* Bm7	

\*は転回型、他は基本型です

メジャーセブンスコード

Cmaj7	
D <sup>♯</sup> maj7 (C <sup>♯</sup> maj7)	
Dmaj7	
E <sup>♯</sup> maj7 <sup>♯</sup> (D <sup>♯</sup> maj7 <sup>♯</sup> )	
E <sup>♯</sup> maj7	
F <sup>♯</sup> maj7	
F <sup>♯</sup> maj7 (G <sup>♯</sup> maj7)	
G <sup>♯</sup> maj7	
* A <sup>♯</sup> maj7 (G <sup>♯</sup> maj7)	
* A <sup>♯</sup> maj7	
* B <sup>♯</sup> maj7 (A <sup>♯</sup> maj7)	
* B <sup>♯</sup> maj7	

ディミニッシュコード

Cdim	
D <sup>♯</sup> dim (C <sup>♯</sup> dim)	
Ddim	
E <sup>♯</sup> dim (D <sup>♯</sup> dim)	
E <sup>♯</sup> dim	
F <sup>♯</sup> dim	
F <sup>♯</sup> dim (G <sup>♯</sup> dim)	
G <sup>♯</sup> dim	
* A <sup>♯</sup> dim (G <sup>♯</sup> dim)	
* A <sup>♯</sup> dim	
* B <sup>♯</sup> dim (A <sup>♯</sup> dim)	
* B <sup>♯</sup> dim	

オーグメントコード

Caug	
D <sup>♯</sup> aug (C <sup>♯</sup> aug)	
Daug	
E <sup>♯</sup> aug (D <sup>♯</sup> aug)	
E <sup>♯</sup> aug	
F <sup>♯</sup> aug	
F <sup>♯</sup> aug (G <sup>♯</sup> aug)	
G <sup>♯</sup> aug	
* A <sup>♯</sup> aug (G <sup>♯</sup> aug)	
* A <sup>♯</sup> aug	
* B <sup>♯</sup> aug (A <sup>♯</sup> aug)	
* B <sup>♯</sup> aug	

マイナーセブンス  
フラットティッドフィフスコード

Cm7 <sup>-5</sup>	
D <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup> (C <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup> )	
Dm7 <sup>-5</sup>	
E <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup> (D <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup> )	
E <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup>	
F <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup>	
F <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup> (G <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup> )	
G <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup>	
* A <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup> (G <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup> )	
* A <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup>	
* B <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup> (A <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup> )	
* B <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup>	

※は転回型、他は基本型です

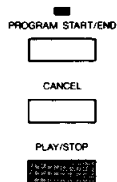
# 鍵盤でリズムをたたきましょう。(カスタムドラマー)

カスタムドラマーを使えば、鍵盤で打楽器の音をならしたり、自分でリズムパターンをつくってメモリーさせることができます。

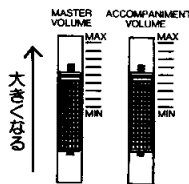
## 打楽器の音をだしてみよう。

1. カスタムドラマーのプレイ/ストップのボタンをON。
2. アカンパニメントボリュームを調節。

### CUSTOM DRUMMER

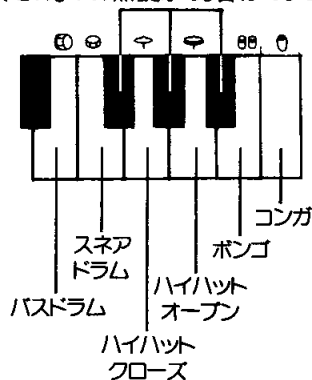


★カスタムドラマーにオリジナルのリズムがメモリーされていると、そのパターンが鳴ってしまいます。いちどパワースイッチをOFFにし、再びONにしてからプレイ/ストップのボタンを押してください。



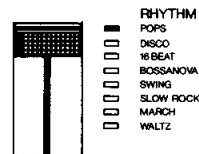
3. カスタムドラマー用鍵盤をたたいてみましょう。

★この3つの黒鍵から3音はできません。



## リズムパターンをつくってみよう。

1. リズムセクターでリズムをひとつ選びます。



選んだリズムパターンをもとにオリジナルのリズムパターンを創るシステムのため、ワルツで4拍子、またスウィングなど $\frac{1}{8}$ 拍子で8ビートなどは創れません。

$\frac{1}{8}$ 系	スウィング、スローロック
$\frac{4}{4}$ 系	ポップス、ディスコ、16ビート、ボサノバ、マーチ
$\frac{3}{4}$ 系	ワルツ

2. プログラムスタート/エンドのボタンをON。

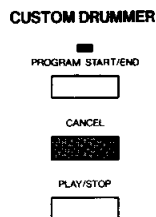
### CUSTOM DRUMMER





プログラムスタート/エンドのボタンを押すと、選んだリズムのパターンが鳴ります。

### 3. キャンセルのボタンを押しながら、カスタムドラマー用鍵盤を押えます。



キャンセルのボタンを押しながらカスタムドラマー用鍵盤を順に全部押します。リズムパターンの音が消え、メトロノームのようにハイハットクローズが「チツ・チツ・チツ・チツ」と鳴ります。

★変えたい打楽器の音だけを消すこともできます。

### 4. テンポコントロールでテンポを調節。



### 5. 好みの打ちかたで、

カスタムドラマー用鍵盤をたたきます。

リアルタイムに打楽器音になりながら、1小節パターンとしてメモリーされます。テンポランプで拍数を確認しながらたたきましょう。

★16分音符の単位までメモリーします。それ以上細かくたたいてもメモリーしません。

### 6. うまくできたら、もう一度プログラムスタート/エンドをON。

これでメモリーは完了です。

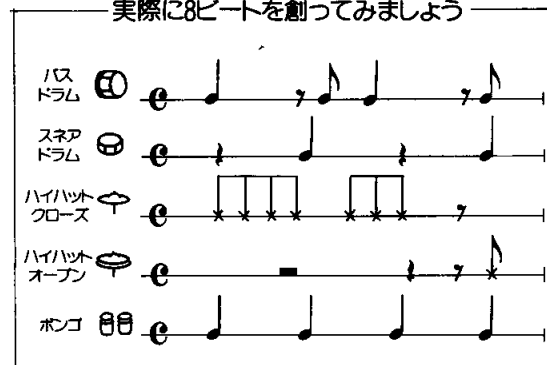
### 7. つくったリズムパターンで演奏する時は、プレイ/ストップをON。



★もう一度プログラムスタート/エンドを押すか、パワースイッチをOFFにすると、メモリーさせたパターンは消去されます。

★つくったリズムを使ってオートベースコードで演奏する時、コードとベースは 選んだリズムのパターンになります。

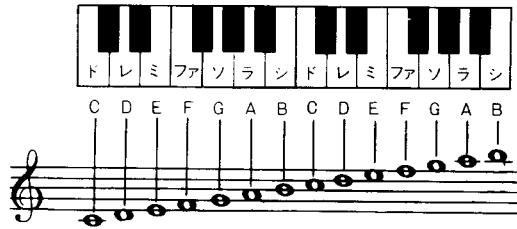
実際に8ビートを創ってみましょう



- ①リズムセクターでポップスを選び、プログラムスタート/エンドのボタンをON。
  - ②キャンセルのボタンを押しながら、カスタムドラマー用鍵盤を押してもとのパターンを消します。
  - ③まず、メトロノームとして鳴っているハイハットクローズと同じタイミングでボンゴをたたきます。
  - ④スネアドラムを2拍目と4拍目にたたきます。
  - ⑤ハイハットクローズとオープンをたたきます。テンポを「1と2と3と4と」と数えながらたたきうまくなります。
- ★やりにくかったら、はじめにすべてハイハットクローズでたたいてしまってから、あとでハイハットオープンにたたきなおすこともできます。
- ⑥ハイハットのリズムをききながら、バスドラムをたたきます。
  - ⑦もう一度、プログラムスタート/エンドを押してでき上がり。プレイ/ストップを押してきいてみましょう。

# 楽譜のよみ方

## ●五線譜のよみかた



## ■音符と休符の長さ

音符の種類と名称	4分音符と比較した長さ	休符の種類と名称	4分休符と比較した長さ
全音符	4つ分のばす	全休符	4つ分休む
付点2分音符	3つ分のばす	付点2分休符	3つ分休む
2分音符	2つ分のばす	2分休符	2つ分休む
4分音符		4分休符	
8分音符	$\text{♩}(\text{♩} = \text{♩})$ 半分にす	8分休符	$\text{♪}(\text{♪} = \text{♪})$ 半分休む
16分音符	$\text{♩}(\text{♩} = \text{♩})$ 4等分する	16分休符	$\text{♩}(\text{♩} = \text{♩})$ 4等分する
3連音符 (3連符)	3等分する		

( $\text{♩}$  は  $\text{♪}$  を 3 等分)

## ■記号を覚えましょう

記号と読み方	意味
♯ シャープ	半音あげる
♭ フラット	半音さげる
♮ ナチュラル	♯, ♭ のついていた音をもとの音にもどす
タイ	音をつなげる (この場合と) 同じになる
スラー	なめらかに弾く
フェルマータ	その音をながくのばす
Tacet タセット	伴奏を休む
Fine フィーネ	おわり

記号とよみ方	意味
リビート	くりかえし
1番かっこ 2番かっこ	くりかえしのあとへ
D.C. ダカーホ	最初からくりかえし、Fine でおわり
D.S. ダルセーニョ	記号からくりかえし、Fine でおわり
♯ Coda コーダ	to ♯ Coda までくりかえしたあと ♯ Coda へ

# 思い出の渚

作詞 鳥塚繁樹 作曲 加瀬邦彦

MASTER VOLUME

ACCOMPANIMENT VOLUME

ACCOMPANIMENT

TEMPO

FAST

SYNCHRO START

START

STOP

AUTO BASS CHORD

MANUAL BASS

FINGERED

SINGLE FINGER

OFF

RHYTHM

POPS

DISCO

REGGAE

BOSSANOVA

SWING

SLOW ROCK

MARCH

WALTZ

ORCHESTRA

JAZZ ORGAN

FLUTE

SAXOPHONE

TRUMPET

DRUM

VIOLIN

PIPE ORGAN

PIANO

ELECTRIC PIANO

GUITAR

HARPSICHORD

SYNTH

ORCHESTRA

VIBRATO

ON

OFF

SUSTAIN

2

1

OFF

POPS SYNTH

C Am Dm G7 C

Am Dm G7 C Am

Em Dm A7 1. A<sup>b</sup>

G7 2. Dm G7 C

き み を み つ け た こ の な ぎ さ で ひ と り た た ず  
 な も は し る し ろ い ふ ね な が い く ろ か  
 み お も い だ す こ む ぎ い ろ し た か  
 み お ぜ に な び か せ せ こ な み に む か っ て さ げ  
 わ い い ほ ほ わ す れ は し ら な い  
 ん で み て も も う か え ら な い  
 い つ ま で  
 も み あ の な つ の ひ

☆コードのおさえ方

C Am Dm G7 Em A7 A<sup>b</sup>

日本音楽著作権協会(出)許諾第8571219-501号  
 © 1966 by WATANABE MUSIC PUB.

# くちなしの花

作詞 水木かおる 作曲 遠藤 実

ACCOMPANIMENT

MASTER VOLUME: MAX, MIN  
ACCOMPANIMENT VOLUME: MAX, MIN

TEMP: FAST, SLOW  
SYNCHRO START: START, STOP

AUTO BASS CHORD: MANUAL BASS, FINGERED, SINGLE FINGER, OFF

RHYTHM: POP, DISCO, WALTZ, BOSSANOVA, SWING, SLOW ROCK, MARCH

ORCHESTRA: JAZZ ORGAN, FLUTE, SAXOPHONE, OBSC, TRUMPET, VIOLIN, PIPE ORGAN, PIANO, ELECTRIC PIANO, GUITAR, HARPISCHORD, SYNTH.

VIBRATO: ON, OFF  
SUSTAIN: 1, 2, OFF

POPS Am Dm G7 C Dm

Am E7 Am Am

HARPISCHORD+SUS.2

Dm E7 Dm Am E7

Am Dm E7

Am F E7 Am Dm

Am F E7 B7 E7 Am

い - ま だ は ゆ び わ も  
ま - わ る ほ ど や せ て - や つ れ た - お ま え の う わ  
さ く ち な し の は な の は な の か お り が  
た び じ の は て ま で つ い て く る く ち な し の し ろ い は な  
お ま え の よ う - な は な だ - た

☆コードのおさえ方



日本音楽著作権協会(出)許諾第8571219-501号  
© Copyright by Diamond Music Publisher Co., Ltd.

# 追憶(THE WAY WE WERE)

作曲 M. ムリッシュ

ACCOMPANIMENT

MASTER VOLUME [MAX] [MIN]

ACCOMPANIMENT VOLUME [MAX] [MIN]

TEMPO [FAST] [SLOW]

SYNCHRO START [START] [STOP]

AUTO BASS CHORD [ON] [OFF]

MANUAL BASS [ON] [OFF]

FINGERED [ON] [OFF]

SINGLE FINGER [ON] [OFF]

RHYTHM [POPS] [DISCO] [JAZZ] [BOSSANOVA] [SWING] [SLOW ROCK] [MARCH] [WALTZ]

ORCHESTRA [JAZZ ORGAN] [FLUTE] [SAXOPHONE] [OBOE] [TRUMPET] [VIOLIN] [PIPE ORGAN] [PIANO] [ELECTRIC PIANO] [GUITAR] [HARPISCHORD] [SYNTH]

ORCHESTRA [VIBRATO] [ON] [OFF]

[SUSTAIN] [ON] [OFF]

POPS C F Am F Em E7 Am7 to

VIOLIN+VIB.+SUS.]

1. C Dm7 G7 2. C C7

F Dm7 Em A7 Dm7

G7 C Dm7 G7

D.C. Coda F E7 Am

F Em F Em F

Em Dm7 G7 C Dm7 G7 C

☆コードのおさえ方

C F Am Em E7 Am7 G7 Dm7 C7 A7

日本音楽著作権協会(出)許諾第8571219-501号

© 1973 by Colgems-EMI Music Inc. Rights for Japan Assigned to TOSHIBA EMI Music Publishing Co., Ltd.

# 悲しみにさよなら

作詞 松井五郎 作曲 玉置浩二

**ACCOMPANIMENT**

MASTER VOLUME (MAX, MIN) | ACCOMPANIMENT VOLUME (MAX, MIN)

TEMPO (FAST, SLOW) | SYNCHRO START (START, STOP)

**ORCHESTRA**

AUTO BASS CHORD (MANUAL BASS, FINGERED, SINGLE FINGER, OFF)

RHYTHM (POPS, IS BEAT, BOSSANOVA, SWING, SLOW ROCK, MARCH, WALTZ)

ORCHESTRA (JAZZ ORGAN, FLUTE, SAXOPHONE, OBOE, TRUMPET, VIOLIN, PIPE ORGAN, PIANO, ELECTRIC PIANO, GUITAR, HARPISCHORD, SYNTH)

VIBRATO (ON, OFF) | SUSTAIN (2, 1, OFF)

Chords: Dm7, G7, C, Em7, Asus4, A

Lyrics: なかないで ひ - と り で ほほえんで み - つ め て あ

Instrumentation: POPS, SAX+SUS.1

Chords: Dm7, G7sus4, C, Dm7, G7

Lyrics: な た の - そ ば に い る か ら - ゆ め に ま で な - み だ が

Chords: Em7, A, Dm7, Fm, Em7

Lyrics: あ ふ れ る く ら い - こ い - は - こ わ れ - や す く

G7sus4 Dm7 Em7 A

— だき し—める うでの つよ さ—で さ —え なぜか ゆ

Dm7 G7sus4 C

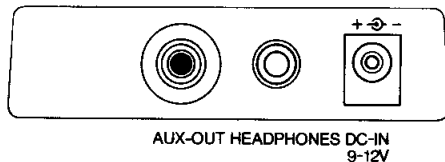
— れ る — こ こ—ろを — と め—られ—ない — ても なか ないで ひ —と りで

Em7 Asus4 A Dm7 G7sus4 C

ほほえんで み —つ めて あ な たの— そ ば に いるから — —

# 付属端子とオプション

PSS-260の本体背面には、図のような外部端子がついています。これらを活用すれば、PSS-260の楽しさはいっそう広がります。

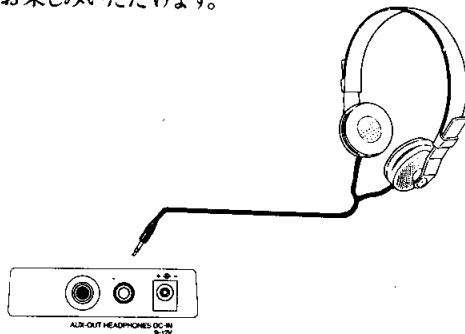


## ①AUX OUT端子

ご家庭のオーディオなど出力の大きなスピーカーに接続すると、迫力あるサウンドをいっそうお楽しみいただけます。この端子を使って、オーディオなどのLINE IN端子に接続してください。

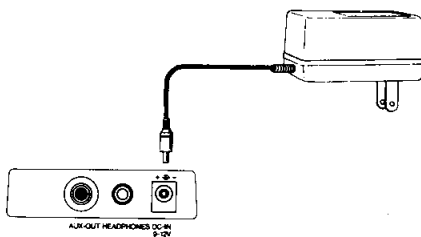
## ②HEADPHONES端子

ヘッドホンを接続する端子で、ステレオ、モノラルどちらのタイプのヘッドホンでもご使用になれます。ヘッドホンを使うと、本体のスピーカーからは音が出ませんから、夜間でも周囲への迷惑を気にすることなく、心ゆくまで演奏をお楽しみいただけます。



## ③DCIN 9-12V端子

家庭用コンセントから電源をとるときに使う端子です。専用アダプター〔PA-1〕を接続してください。

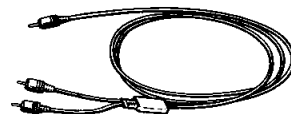


## オプション(別売付属品)

- ステレオヘッドホン〔YHD-3〕¥5,500

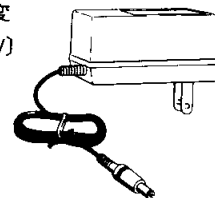


- 分岐接続コード〔PC-2〕¥1,000



- 電源アダプター〔PA-1〕¥2,000

AC100V(家庭用コンセント)から、DC12Vを取り出す電圧変換気です。本体の〔DCIN9-12V〕へ電源を供給します。



- 専用ソフトケース〔SCC-15〕¥2,500



# 故障と誤りやすい現象

新刊

現象	原因	解決法
パワースイッチを入れたとき、ポツンと音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
パイロットランプが点滅する	①電池がなくなりかかっているため。 ②音量が大きいとき、一時的に電圧が下がるため。	①すべて新しい電池と交換してください。 ②ご心配いりません。
音色セレクターで選んだ音色とは別の音色がでる。	①オートベースコードセレクターがOFFになっていないとき、オートベースコード用鍵盤部で弾いている。 ②カスタムドラマーを使っている時、カスタムドラマー用鍵盤で弾いている。	①オートベースコードを使っているとき、オートベースコード用鍵盤部の音色と関係ありません。 ②カスタムドラマーを使っている時、カスタムドラマー用鍵盤からは、打楽器の音がでます。
鍵盤を同時に8音おさえても7音しかでない。また、オートベースコードを使っているとき、鍵盤を同時に4音おさえても3音しかない。	音色は同時に7音までしかでないようになっています。また、オートベースコードを使っているときは3音しかでないようになっています。	先におさえた音が優先します。
リズムの音がでない。	①スタートボタンがどちらも押されていない。 ②シンクロスタートボタンを押して、オートベースコード用鍵盤部を押していない。	①②5ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。
オートベースコードの音がでない。または、リズムにのらない。	①オートベースコードスイッチがOFFの位置にある。またはマニュアルベースの位置にある。 ②オートベースコード用鍵盤を押さえていない。 ③アカンパニメントボリュームが最小になっている。 ④スタート、シンクロスタートのどちらも押されていない。	①②③④5～10ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。
オートベースコードで伴奏しているとき、指を変えてもコードが変わらない。	オートベースコード用鍵盤を指を離さずに弾いているため。	コードを変えるときは、いちど鍵盤から指をはなすようにしてください。
カスタムドラマーで自分の弾いたとおりにメモリーしない。	①リズムセレクターで選択したリズムを誤っている。 ②カスタムドラマーは16分音符の単位まで入ります。	①②14～15ページの説明をお読みください。
リズムの音がでない。または、カスタムドラマーで鍵盤をたたいても音がしない。	アカンパニメントボリュームが最小になっている。	アカンパニメントボリュームレバーを上へ動かしてください。
何もしないのに、鍵盤から音がでる。	電源を入れたまま放置すると約2分ごとに警告音がなります。	使用後は必ず電源を切ってください。

# 仕様

## ●鍵盤

ミニ鍵盤49鍵 (C1~C5)

## ●オーケストラ

〈オーケストラ音色セクター〉

ジャズオルガン

フルート

サクソフォン

オーボエ

トランペット

バイオリン

パイプオルガン

ピアノ

エレクトリックピアノ

ギター

ハーブシコード

シンセ

〈音色コントロール〉

ビブラート オン/オフ

サステイン オフ/1/2

## ●アカンパニメント

〈リズムセクター〉

ポップス

ディスコ

16ビート

ボサノバ

スウィング

スローロック

マーチ

ワルツ

〈オートベースコード〉

マニュアルベース

フィンガード

シングルフィンガー

オフ

〈アカンパニメントコントロール〉

シンクロスタート

スタート

ストップ

テンポコントロール

テンポランプ

アカンパニメントボリューム

## ●カスタムドラマー

プログラムスタート/エンド

キャンセル

プレイ/ストップ

## ●その他のコントロール

パワーオン/オフスイッチ

パイロットランプ

マスターボリューム

デモンストレーション(トルコ行進曲:モーツァルト作曲)

## ●メインアンプ

2.0W (4Ω負荷)

## ●スピーカー

9cm (4Ω)

## ●定格電源

DC9V:単2乾電池6個

:電源アダプター (PA-1)

## ●消費電力

電源アダプター (PA-1) 使用時:3.3W

電池使用時:2.4W

電池寿命:通常演奏で連続10時間以上

## ●付属端子

HEADPHONES JACK

AUX. OUT JACK

DC IN 9-12V JACK

## ●寸法・外装

本体材質:スチロール樹脂

間口:629mm

奥行:229mm

高さ:57mm

重量:2.3kg (電池重量含まず)

## ●付属品

単2乾電池6個

# アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へ直接お申し付けください。

■本機の保証は、保証書によりご購入日から満1ヵ年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。(日本国内のみ有効)

■保証期間の1ヵ年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か右記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

## ■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

## ■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“故障と誤りやすい現象”の項をいま一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。)

## ■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号をハッキリお知らせください。また勤めて昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

## YAMAHA電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お預り窓口)

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL.044-434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL.0252-43-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL.06-877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7 日本楽器高松店内 TEL.0878-22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中区玉川町2-1-2 日本楽器名古屋流通センター TEL.052-652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2134
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9-3 TEL.011-781-3621
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL.0222-36-0222
広島電音サービスセンター	〒731 01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL.082-874-3787
浜松電音サービスセンター	〒432 浜松市東伊場2-13-12 TEL.0534-56-9211
(本社) 電音サービス部 技術課	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL.0534-65-1111

※住所及び電話番号は変更になる場合があります。

本 社 / 〒430 浜松市中沢町10-1  
TEL.0534(65)1111

東京支店 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル  
TEL.03(572) 3111

大阪支店 / 〒542 大阪市南区南船場3-12-9/心齋橋プラザビル東館  
TEL.06(251)1111

名古屋支店 / 〒460 名古屋市中区錦1-18-28  
TEL.052(201) 5141

九州支店 / 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL.092(472) 2151

北海道支店 / 〒064 札幌市中央区南十条西1-4/ヤマハセンター  
TEL.011(512) 6113

仙台支店 / 〒980 仙台市大町2-2-10/住友生命仙台青葉通ビル  
TEL.0222(22) 6141

広島支店 / 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18  
TEL.082(244) 3744

浜松支店 / 〒430 浜松市鍛冶町321-6  
TEL.0534(54) 4116

